

岡田重美・西山実議員が一般質問

発言順

岡田重美議員



◆訪問介護事業所への支援について、◆子どものインフルエンザ予防接種費用助成について、◆道の駅あいの土山のリニューアルオープンに向けて、◆国道307号信楽長野バイパスの早期開通を

問 今年4月からの訪問介護報酬引き下げによる影響について、市内事業所の実態調査を行うべきではないか。市独自に介護職の処遇改善対策を。報酬引き下げ撤回、改善を国に求めるべき。

健康福祉部長 事業者と意見交換を通じて実態把握に努める。処遇改善は国が対応すべきだが、市として家賃や研修費等の補助を継続していく。国・県に要望する。

問 子どもの健康を守り、子育て世帯負担軽減のため、子どものインフルエンザ予防接種の一部助成を。

市長 子育て世帯の意見を聞き、必要に応じて検討していく。

問 道の駅あいの土山のオープンが遅れると聞くが、いつ頃になるのか。

産業経済部長 来年夏ごろの予定。

問 道の駅の物品販売の事業者数や商品は。販売手数料はできる限り事業者の負担を軽減すべきではないか。

副市長 150以上の事業者と商談中。農産物や地酒、陶器等も販売する。現状の手数を基本とするが負担軽減策も検討。

問 長野バイパスの長野・江田間の工事完了は。全区間の早期開通に向け、県・国に働きかけを。

建設部長 長野・江田間開通は令和9年度末を予定。国・県へ積極的に要望する。

西山実議員



◆大阪・関西万博への教育旅行について、◆梅の木地域の避難誘導と氾濫を防ぐ堤防の設置について、◆子どもの通学安全対策における地域の要望について、◆松尾地域の市道法面の除草について

問 大阪・関西万博の教育旅行の参加予定は、熱中症対策、警報時の避難場所の確認など、教育旅行としての安全確認を。教育長 下見を前提に小学校4校、中学校4校が計画しているが、実施を決定しているものではない。最終的な実施の判断は、会期中の下見を含めて安全対策を確認した上で行われるべきであり、しっかりと見届ける。

問 梅ノ木地域は、高齢者・避難困難者が多く、避難誘導に特別な支援が必要。危機・安全管理統括官 災害時に自ら避難することが困難な「避難行動要支援者」の方の支援者の確保が難しい地域は、自治振興会、まちづくり協議会、社会福祉協議会などのお力も借りながら、安全確保に努める。

問 梅ノ木地域の水害対策として、野洲川河川敷の雑木伐採と浚渫を。

建設部長 今年度より内貴橋から水口大橋の間の雑木伐採を予定している。土砂の堆積は少なく今は浚渫の必要はない。

問 松尾地域の急斜面で危険な市道法面、市有地の除草について、これまで地域住民のボランティアで実施してきたが、高齢で出来なくなった。年複数回の除草を。総務部長 危険な場所は市において除草することを考えている。

異常な物価高騰のなかで「物価上昇に見合う高齢年金等の改善を求める請願」

凜風会・自民党誠翔会・公明が反対

甲賀年金者組合の大原盾夫支部長(甲賀町高野在住)が12月議会に「物価上昇に見合う高齢年金等の改善を求める請願」を提出(日本共産党の岡田重美・西山実議員が紹介議員)。ところがこんな当たり前の願いさえ、凜風会・自民党誠翔会・公明党の議員が反対したため、請願は賛成少数で不採択となりました。賛成は日本共産党と無党派の福井議員のみ。

23日最終日の討論では、公明党の木村議員は「願意はよく理解する」としながら「年金引上げを考へるとき、公的年金制度全体の仕組みを俯瞰してみないと」と。西村議員は「異常な物価高に対しては特別給付金を支給されている。マクロ経済スライドは妥当な制度である」と反対討論を述べました。これに対して福井議員は「若い人も高齢者も安心して老後が暮らせるように年金制度の改善が必要」

甲賀年金者組合から請願

と。山岡議員は「異常な物価高が生活を直撃している。高齢年金だけで生活している高齢者もおられる。せめて物価上昇に見合う年金に改善を、という願いは当然のこと。湖南市議会でも同様の意見書が採択されている。請願の願意はここにある。しっかりと受け止めて請願を採択すべき」と訴えました。採決で、賛成は日本共産党の山岡、岡田、西山の三名と無党派の福井議員のみでした。

異例の追認議案

議案に付すことなくすでに執行済み3件

- ①《雲井コミュニティセンター整備事業》
 - ◆取得価格 20,460,000円 (不動産鑑定価格1860万円・消費税別)
 - ◆契約日 令和5年12月25日
- ②《小学校教師用教科書及び指導書》
 - ◆取得価格 20,242,890円
 - ◆契約日 令和2年3月30日 随意契約
- ③《鳥獣侵入防止柵資材・フェンス等》
 - ◆取得価格 202,111,070円
 - ◆契約日 令和元年8月16日 入札

12月定例議会に異例の「追認」議案が三件も出されました。甲賀市議会初めてのことで。提案されたのは上記の三件。三件とも議会に付すことなくすでに執行されています。契約そのものが無効であり、違法な公金支出に当たるので、それを有効とするために「追認」議案として提出されたものです。

提案説明では、「誤認識だった」と説明されましたが、山岡光広議員は「誤認識だった、で済まされる問題ではない」とその問題点を指摘、特にチェック体制の甘さ、地方自治体の長の責任について指摘、改善を求めました。